

しずく

No.
126
2023.7

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより

●今号の主な内容

特集 議会だよりができるまで②

6月定例会…6

町政を問う

一般質問 9議員が質問…9

委員会レポート…16

ふるさとへの便り(92)…19

●今号の表紙/なかよしシリーズ①

「わたしたち3きょうだい」…20



特集
議会だよりができるまで

特集

委員会活動

議会だよりを定例会ごとに皆様にお届けして126号になりました。平成29年8月に広報広聴常任委員会も広報編集特別委員会から常任委員会となり、使命の重さを感じながら、紙面づくりをしてきました。議会の情報を読みやすく、分かりやすくをモットーに、一字一句を入念に編集を重ねてきました。皆様に紙面参加をいただきながら、身近に感じられる広報紙となるよう企画してきました。編集の在り方や過程を知っていただき、さらに手に取ってもらえるような広報紙を目指し、制作過程を特集企画しました。

年4回発行、全議員がいずれかの担当者になります



1

毎定例会初日終了後 広報広聴常任委員会開催

次号の特集や企画内容を決め、記事作成担当者を決定。発行までの日程や原稿締切日などを内定します。

議会だより 第126号編集日程 (2月28日定例会開催 編集会議①)

3月	項目	4月	項目
1	水	1	土
2	木	2	日
3	金	3	月
4	土	4	火
5	日	5	水
6	月	6	木
7	火	7	金
8	水	8	土
9	木	9	日
10	金	10	月
11	土	11	火
12	日	12	水
13	月	13	木
14	火	14	金
15	水	15	土
16	木	16	日
17	金	17	月
18	土	18	火
19	日	19	水
20	月	20	木
21	火	21	金
22	水	22	土
23	木	23	日
24	金	24	月
25	土	25	火
26	日	26	水
27	月	27	木
28	火	28	金
29	水	29	土
30	木	30	日
31	金		

①委員会開催

表紙の写真撮影や原稿依頼者への写真撮影なども担当者が行います



②取材活動

町民へ原稿依頼・取材

担当者が原稿依頼やインタビューなど記事を作成します。

原稿・写真等を提出

原稿締切日までに担当者が一般質問や議会内容の原稿を作成し、写真や資料をそろえ議会事務局へ提出します。

議会だよりができるまで

印刷業者の原稿を基に 初校原稿確認

一番時間が
かかります

全員で原稿の紙面割り振り
や、誤字脱字、分かりやすい
言葉への変更などの意見交換
や訂正等の話し合いをします。



④
初校

⑤
再校・
念校



一字一句確認しながら編集作業をする委員

皆様のお手元
お届けします

議長確認後発行

最終原稿を議長が確
認し、問題なければ発
行期日に合わせ印刷し
ます。

より多くの町民の方が登場
できるように、皆様へ取材協
力をお願いしています。

分かりやすく、読みやすく
を第一に考えて編集をしてい
ます。

目を血まなこにして
確認します



初校の訂正確認 再校の訂正確認

初校・再校の訂正・
修正箇所を全員で確
認します。

5



⑥発行

おかげさまで、受賞できました



令和3年度 第36回 町村議会広報全国コンクール 金賞受賞

令和3年4月発行の議会だより第117号が表紙デザイン賞全国1位の金賞を受賞しました。全国317町村議会からの応募の中での栄冠でした。



令和4年度 岩手県町村議会広報コンクール 奨励賞受賞

令和4年4月発行の議会だより第121号が奨励賞を受賞しました。(右写真)
皆様に分かりやすく読んでいただくことを第一に編集してきた成果と思っています。



視察も 来ています

2022.7.12

茨城県筑西市議会広報委員会

2022.7.20

大分県日出町議会広報編集特別委員会

2022.10.12

山形県尾花沢市議会議会だより編集委員会

2023.1.17

千葉県印西市議会議会だより編集委員会

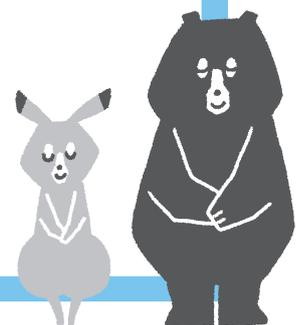


印西市議会と活発な意見交換を実施

- 全国の市町村から広報広聴常任委員会へ視察に来ています。
- 編集方法や編集内容、写真撮影の方法、町民参加型紙面づくりなどの質問があり、丁寧にお答えしています。

町民皆様のご協力の賜物です

皆様のご意見、ご提言を参考にして、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに反映していきます。



議会だよりへの感想や ご意見をお聞きしました



なかむら りんのすけ
中村 林之輔さん (86)
中町一

議会だよりは毎回見ております。一番新しい令和5年4月発行の第125号2、3ページの見開きでは「予算ここに注目」が目立っていて迫力があり印象に残っております。

また、「予算特集」も関心のある項目の質疑応答が多く良かったと思いますが、少し文字が小さく感じます。一般質問は毎回目を通します。各議員や町の方針が見出しによって読みやすく、そして分かりやすいです。町民の皆さん4人が登場するVOICEは町内のいろんな方の声が聴けて楽しいです。



いずみだて
泉 館 すなをさん (46)
下町三

たまには読みますが、難しい言葉が出てくると分からないので、分かりやすく書いてほしいですね。

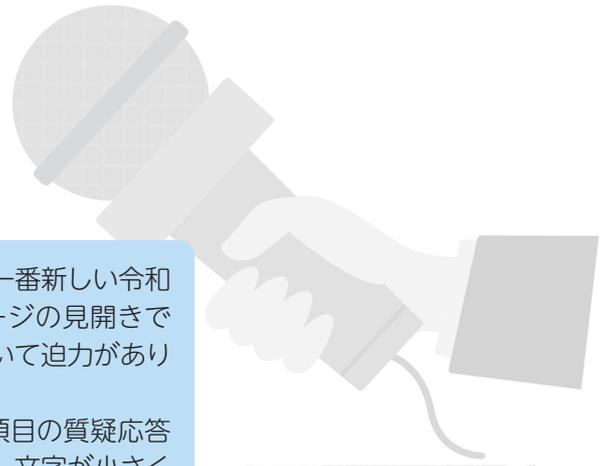
ガソリンや軽油も値上がりして大変です。議会だよりでも、身近な話題をもっと取り上げてくれれば町民の人に伝わるのかなと思います。

私は自分が依頼を受けるまで議会だよりにきちんと目を通すことが少なかったように思います。読んでみると議員の方々の活動や考えが分かりやすく書いてあり、栗石町を良くしたいという気持ちが伝わってきます。私たちが安心して生活できる土台を支える議員の方々をもっと身近に感じられるようにたくさんの人に読んでもらいたいと感じました。



ささき みやび
佐々木 雅さん (21)
片子沢

表紙がいつも素晴らしいと思って見えています。毎月特集にも取り組まれていて担当議員さんが苦労して作られているのだなと感じています。議員さんには町の事業に対し文句ばかりでなく、広い視野で未来ある町を築くための提言をしてほしいです。そうすれば議会だよりはもっと明るい紙面になると思います。



こやち まさみつ
小谷地 正光さん (51)
栗石谷地



もりあい まさひと
森合 栄仁さん (49)
小松

ご意見

- 専門的な言葉が多く、分かりづらい。
- もっと身近な問題や話題を取り上げて。
- 字数が多く、もっと大きな文字で見えやすくした方が良い。
- 毎回特集があり、興味ある。

6月定例会のあらまし

農家、子育て世帯、社会福祉施設などに物価高騰対策を支援

令和5年6月定例会は、6月9日から6月19日までの11日間の会期で行われました。

本定例会では、報告4件、承認4件、条例の一部改正及び廃止4件、補正予算2件、同意9件、請願1件、議員発議4件、その他4件を審議しました。
一般質問は、9人の議員が登壇し、まちづくりや福祉、産業振興、教育など町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをたずねました。

令和5年度補正予算

会計名	補正後予算額 (補正予算額)
一般会計 (第1号)	108億2,790万3千円 (790万3千円増)
一般会計 (第2号)	110億4,350万5千円 (2億1,560万2千円増)
国民健康保険 (第1号) 特別会計	17億2,030万円 (30万円増)



冬の一大イベントとなる雫石冬フェスタ会場の小岩井農場まきば園



水はけのよいグラウンドに整備する御明神小学校

- 誘客促進・雫石冬フェスタ開催
- 旧上長山小学校でアウトドア実証実験
- 御明神小学校グラウンド水はけ改善
- アーチエリー教室の業務委託

主なもの

○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 843万6千円

食費をはじめとした物価高騰等に直面している世帯の生活支援を行うため、低所得の子育て世帯に対し児童1人当たり5万円を給付。

○社会福祉施設等物価高騰緊急対策支援事業 346万円

物価高騰の影響を受ける私立保育園、社会福祉施設等（介護、障がい）に、支援金を交付。

○電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 548万5千円

電気・ガス・食料品等の高騰による家計への影響が大きい低所得世帯に対して、1世帯当たり3万円を給付。

○旧上長山小学校アウトドア実証実験運営業務委託料 330万4千円

旧上長山小学校及び葛根田川水辺公園をデイキャンプの場として提供、子ども向けイベントなどの社会実験を7月22日から10月15日の土日祝日に実施、将来的な事業化を検討。

○栗石冬フェスタ開催委託料 1000万円

「いわて雪まつり」に代わる冬季イベントとして昨年度に続き、町と小岩井農場が連携し、令和6年度2月3日から12日（10日間）までに開催予定の栗石冬フェスタに、国内外からの誘客を目指し早期に委託。

○農業経営緊急対策給付金事業 6000万円

高騰している肥料、飼料の購入経費の一部を補助し、農業経営の継続を支援。

○御明神小学校屋外運動場整備工事業 3203万3千円

御明神小学校屋外運動場の水はけを改善するため、トラック表土の入れ替え改良および傾斜設置、側溝設置などの工事を実施。

○アーチェリー教室運営業務委託料 314万円

アーチェリー教室等の活動機会を提供し、その運営、指導を専門的知見と指導実績のある組織・団体に委託。

ここが変わる

栗石町へき地保育所設置条例を廃止する条例

休所中の大村へき地保育所と橋場へき地保育所は、児童数の減少から今後再開の必要性や有効性は極めて低いことから、設置条例を令和5年度に廃止することになりました。

主な質疑

Q 【岩持議員】旧上長山小学校及び葛根田川水辺公園のアウトドア実証実験運営業務委託料は、7月22日から実施することだが、本来当初予算とすべきではなかったか。

A 【観光商工課長】「国道46号ゆるゆるアウトドア観光推進研究会」で令和5年度はキャンプに集約して取り組むことに決定したのが2月末だったため、当初予算に計上する時間がなかった。夏休み時期からの強い実施希望もあり、6月補正予算に計上するものである。



アウトドア実証実験が行われる葛根田川水辺公園

Q 【横手議員】アーチェリー教室運営業務については、教室は月5回の9か月と説明を受けているが、月5回となると週1回以上のペースで少し多いと思うが、今までの町で実施した実績を踏まえたか。

A 【生涯文化スポーツ課長】アーチェリー教室は昨年度も小学校児童を対象に実施しているが、今回のアーチェリー教室は、より多くの方々に体験していただきたいことから、月5回という設定をした。

令和5年第2回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧

会期：6月9日（金）～6月19日（月）

議案等番号	件名	島山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	古館 謙護	幅 秀哉	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	杉澤 敏明	西田 征洋	大村 昭東	坂下 栄一	上野 三四二	議決結果
承認第2号	雫石町職員の特殊勤務手当に関する条例及び雫石町会計年度任用職員の給与、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	承認
承認第3号	令和4年度雫石町一般会計補正予算（第9号）の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	承認
議案第5号	令和5年度雫石町一般会計補正予算（第2号）	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第8号	財産の取得に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
発議第3号	監査請求に関する決議案	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 一…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。
 ★その他の承認、議案、同意、発議については、全議員が賛成いたしました。

人事

○監査委員の選任に同意しました。

氏名 小田 純 治氏（再任）
 行政区…小松
 任期 令和5年7月31日から令和9年7月30日まで

○固定資産評価審査委員会委員に選任に同意しました。

氏名 佐々木 繁 光氏（再任）
 行政区…七ツ森
 任期 令和5年7月5日から令和8年7月4日まで

○御明神財産区管理委員に次の7名の選任に同意しました。

任期 令和5年7月31日から令和9年7月30日まで

氏名 岩持 静雄氏（再任）
 行政区…岩持

氏名 千葉 和彦氏（再任）
 行政区…まがき

氏名 高橋 哲男氏（新任）
 行政区…上野沢

氏名 高橋 健造氏（再任）
 行政区…下春木場

氏名 中村 継幸氏（再任）
 行政区…中島

氏名 久保田 功氏（新任）
 行政区…天瀬

氏名 原 正人氏（再任）
 行政区…山津田



ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う

9 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

10

ページ

栗石型農業は機能しているか

質問者／うわのみよじ上野三四二 議員



10

ページ

酪農家への牛舎電気代の支援は

質問者／にしだまさひろ西田征洋 議員



10

ページ

食料安定供給のまちづくりは

質問者／おおむらしょうとう大村昭東 議員



12

ページ

少子化対策、
人口減少対策の推進は

質問者／ふるだてけんご古舘謙護 議員



12

ページ

多面的機能支払交付金の
交付率の向上を

質問者／かねこかずお金子一男 議員



12

ページ

防犯機器設置に補助しては

質問者／とくたゆきお徳田幸男 議員



14

ページ

三ツ石山への登山道に、
木道を設置してはどうか

質問者／はたけやま畠山 みさお操 議員



14

ページ

通学路グリーンベルトの
塗り替えは

質問者／はば幅 ひでや秀哉 議員



14

ページ

老老介護、認認介護世帯の現状

質問者／どうぜんよし のぶ堂前義信 議員



旧南畑小学校に教育委員会の一部を分室したのは良いことだ！

質問者／上野三二一議員



栗石型農業は機能しているか

町長 水稻を基幹とし、畜産等との複合経営が主体。生計維持が持続可能となるよう取り組んでいる

Q 栗石型農業は消費者が求めている作型の組み合わせになっているか。

A 水稻を基幹とし、畜産、野菜、花卉、菌茸とを組み合わせた複合経営が主体である。個々の農業経営が持続可能となるよう、市場への品目や新需要作物を的確に捉え、関係機関、団体と連携し取り組んでいく。

大変な生活を強いられているコメ農家ウシ農家に町の直接援助を

質問者／西田征洋議員



酪農家への牛舎電気代の支援は

町長 県の支援策の動向を注視し、検討する

Q 酪農家の牛舎電気代高騰への支援は。

A 現時点で町として酪農家への電気代高騰に特化した支援は考えていない。県は配合飼料価格の高騰に伴う対策や酪農経営体への粗飼料価格高騰に伴う支援策の実施に向けて準備を進めている。県の動向を注視しながら町としての支援を検討していく。

給食の地元産品の利用向上は

休養・滞在・療養・リゾート・住みたいまちづくりガンバレ

質問者／大村昭東議員



食料安定供給のまちづくりは

町長 世帯所得の向上に向けた支援

Q 持続可能な未来をつなぐための、食料安定供給のまちづくりは。

A 町の事業で未来へつなぐ農業応援事業により、スマート農業※技術や農産物加工



持続可能な農業に

スーパーイベントの考えは

Q 立地を生かした観光誘客面で、全日本クラスの各種大会や、冬季国体などスーパーイベントを進める考えはあるか。

A 話題性、集客力として効果的であると認識している。社会情勢、地域特性、費用対効果などを考慮し慎重に検討する。交流人口の増加に成功している自治体などを参考とし誘致や創出を考えていく。

オリンピックの育成計画は

Q アーチェリーの町栗石として、オリンピックを町から出すとされているが、具体的育成計画はどうか。

A 中長期的普及活動により競技人口の増加を図る。体験会等を継続開催し、指導、育成の充実のため、指導実績や競技運営のノウハウを有する民間の力も借りていく。多くの児童生徒、学生、町民へ普及させ、町内から世界で活躍できる選手、オリンピックが輩出されるよう取り組んでいく。



わが町からオリンピックを

Q 学校給食での地元産品の計画的な利用向上を図るべきではないか。

A 平成13年度より全小中学校で地元産直と連携し、利用するよう努めてきている。令和4年度は地元産直のほか、道の駅栗石あねっこや個人農家が町内産の特産品食材を納品している。月別生産リストを参考に旬の食材を発注し、町内産野菜の利用率は49・1パーセントと令和3年度より12・5パーセント向上した。また、米はJA新しいわて南部宮農経済センターより町内産米を全小中学校で100パーセント利用している。



食器をしっかりと持って姿勢よく食べる栗石小の児童たち

公的施設の温水洗浄便座化は

Q 公的施設内トイレの温水洗浄便座化の推進をどうするか。

A 学校や公民館、役場庁舎など多くの施設で実施している。今後もそれぞれの施設の利用実態を見ながら、必要に応じた改善に取り組む。

機械等の導入、農業研修や親元就農者への支援、小規模な土地改良事業への支援など、今後も家族経営単位の世帯所得向上に向けた支援を継続していく。

※スマート農業・ロボット技術や情報通信技術を活用し、省力化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業

環境を生かしたまちづくりは

Q 環境を生かした休養、滞在、療養、リゾートを考えたまちづくりは。

A 町では昔から健康と観光を結びつけた考え方を持っており、健康とリゾートを組み合わせ、全国の優良事例等を学び町の環境を生かした観光地域づくりについて研究する。

町職員の能力開発は

Q 職員の能力開発と自己研さんは。

A 町の将来像を意識し、使命感、責任感を持ち、規律を順守し、住民の信頼に応えられる職員を目指す。また職場内における報告、連絡、相談など、相互の連携を密にし、組織力を発揮できるよう、個々の能力や士気の向上に取り組んでいる。

対乗った、待って減少する人口の丸と丸を切り切らな策。進めよう。

質問者／古館謙護 議員



少子化対策、人口減少対策の推進は

町長 実効性のある地方創生の取り組みを推進する

Q 持続可能なまちづくりのため、若者が定住するよう、効果的な少子化対策、人口減少対策を強力に推進する必要があると考えるがどうか。

A 少子化、人口減少対策は最重要課題である。実効性のある地方創生の取り組みを推進するため、第2期栗石町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「仕事の創出」「移住定住」「子育て環境の充実」「特色ある地域づくり」の4つの柱を掲げ、取り組んでいる。

高齢化が進む中、物資などの高騰で農業者も窮地に立たされている

質問者／金子一男 議員



多面的機能支払交付金の交付率の向上を

町長 国の予算増額に向け継続して働きかける

Q 多面的機能支払交付金の資源向上、長寿命化の交付率が計画の半分を切る状況だが、どのように捉え、国や県に働きかけていくか。

A 資源向上支払いに係る交付率は、令和4年度は大幅に減少した形で推移している。理由は全国的に組織数や対象農地面積が年々増えていることが挙げられる。一方で国の予算は横ばいとなっている。資源向上支払い等における共同活動への配分後に、長寿命化への配分が行われていることから交付率

町民に安心を与えるための補助を

質問者／徳田幸男 議員



防犯機器設置に補助しては

町長 家庭用防犯カメラの購入者に対し検討中

Q 近年凶悪な強盗殺人事件が発生しているが、未然防止のため防犯カメラや防犯ライトを住宅の玄関先に設置する必要があると思うがそれに対し補助してはどうか。

A 現在、家庭用防犯カメラを購入し、設置する方への補助を検討中である。機能も多岐にわたること



防犯カメラ設置で安心・安全なまちづくりを



元気な姿を守り育てるのが私たちの責務

物価高騰対策への取り組みは

Q 諸物価の高騰により、仕事や事業、家計に大きな影響を受ける町民や事業者へ緊急に物価高騰対策支援が必要ではないか。

A 6月定例会で、農業者への経営支援として6000万円、住民税非課税世帯や家計急変世帯に対する支援として5481万5000円等、計1億1827万5000円を補正予算として計上し、安定的かつ継続的な事業運営を支援していく。

が全国的に低下している。国の予算増額を、これまでも県を通して国に要望しているが、継続して働きかける。

Q 遊休農地の調査状況と所有者に対する指導状況は。

A 毎年、町内全域で農地パトロールを行い農地の利用状況を確認している。遊休化している農地や遊休化のおそれのある農地の所有者に対しては、耕作等の働きかけをお願いしている。遊休農地と判断した所有者には農地の利用意識調査を行った上で、自らが耕作し、適正に管理するか、第三者に耕作をお願いするなどの指導を行っている。



農地パトロールで実態調査

から、どのような補助が妥当か情報収集をしている。

観光地の安全対策は

Q 観光地の安全対策の未然防止は図られているか。

A 小岩井農場一本桜付近は観光客による路上駐車が見られているので注意看板を設置し、県警の協力を得て、パトロールを強化している。またキャンプ場の倒木事故を受けた安全点検は、県で設置しているオートキャンプ場を、町の指定管理者が運営を行っている施設内の樹木等については危険な枯れ枝を取り払うなどの安全対策を行っている。

アーチェリーセンターでの事故防止対策は

Q いわて栗石アーチェリーセンターがオープンし、今後各種大会及び合宿で多数の利用客が見込まれると思うが、施設内の事故防止策をどう講ずるか。

A アーチェリーの競技特性を考慮した上で、施設の監視システムの整備や利用者の安全確保、緊急時に迅速な対応ができる常駐スタッフの配置など安全対策を行う。

元町長への弔慰金100万円って常識的な金額ですか？

質問者／**畠山 操** 議員



三ツ石山への登山道に、木道を設置してはどうか

町長 管理者である県へ要望していく

Q 奥産道から三ツ石山への登山道は、水はけが悪く年間を通してほぼぬかるみの状態である。そのような箇所は木道を設置し、それ以上登山道が崩れないように改善してはどうか。

A 三ツ石山周辺は十和田八幡平国定公園第1種特別区域となっており、環境庁



三ツ石山の登山道はぬかるみが多い

鮮やかな色のグリーンベルトで注意喚起。子どもたちの安全を願う

質問者／**幅 秀哉** 議員



通学路グリーンベルトの塗り替えは

町長 協会の協力で今後実施する予定

Q 歩道のない通学路に歩道と車道を区別する目的で設置している通称グリーンベルトは経年劣化により色が薄くなっている。塗り替えの予定は。



歩行者の安全確保に効果的なグリーンベルト

A 今年度、一般社団法人全国道路標識・標示業協会岩手県協会が実施している地域貢献活動で、町内のグリーンベルトの塗り直しを行う予定となっている。今後は路線

高齢社会、老老介護や認知症、ヤングケアラー等々介護問題は多いなあ

質問者／**堂前義信** 議員



老老介護、認知介護世帯の現状

町長 正確な実態把握は難しいが増加傾向

Q 町の老老介護、認知介護世帯の現状と今後の見通しは。

A 65歳以上の高齢者が高齢者を介護している老老介護、認知症の人が認知症の人を介護している認知介護ともに上昇傾向にあり、正確な実態把握は難しい状況だが、高齢化率及び要介護認定者も増加傾向にある。

農家経営への影響緩和支援は

が直轄事業として実施することとなっている。この問題に対し、国主導で解決を図るよう伝えられているが、八幡平市などと国に働きかけ、奥産道の管理者の県に木道設置を要望していく。

Q 奥産道側の三ツ石山への登山口に、トイレがないが、設置してはどうか。

A 三ツ石山荘での長蛇のトイレ待ちや放尿等による、周辺環境悪化状況は把握している。混雑は紅葉時期限定であるが、利用者へのマナー啓発を図り、具体的対応は八幡平市と連携し環境庁、県へ要望していく。

町長経験者への弔慰金金額の規定は

Q 令和4年に町長経験者へ弔慰金1000円が支出されたが、町長経験者への弔慰金は名誉町民とは別な規定を作り、常識的な金額とすべきと思うがどうか。

A 名誉町民に関する条例では「相当の礼を持ってする弔慰」により礼遇すると規定されているが、町長経験者に対する弔慰金は町長交際費取り扱い基準のうち、弔慰金支出基準により、過去の例を参考とし、協議の上決定することとしている。元町長への弔意の機会に限られていることもあり、今後内容も内容を勘案し、過去の例を参考としながら関係者で協議し対応していく。

ごとに摩耗状況が異なるため、状況を確認しながら必要に応じ、対応していく。

小学校旧校舎の利活用は

Q 小学校統合後の旧校舎の利活用と各地区地域づくり組織との連携や将来像をどう考えているか。

A 令和5年3月に御明神、西山地区で地域運営組織が設立された。現段階で旧小学校を活用した具体的な連携事業は予定されていないが、住民の郷土愛の象徴である旧小学校は重要な地域資源として、地域運営組織に限らず、多様な利活用を検討していく。

合宿誘致と

観光地域づくり法人との連携は

Q 各種競技の合宿誘致へ向け、観光地域づくり法人（DMO）と連携して具体的にセールスをどのように行うか。

A 交付金を活用した合宿プランを令和5年度は1人1泊3000円助成に増額し、首都圏での合宿相談会へ参加しPRしていく。また、合宿を中心に扱う旅行業者や団体等に複数回セールスするなど、アフターコロナにおける合宿需要を積極的に取り組んでいく。

Q 農業経営緊急対策給付金等の効果は。

A 昨年度、肥料、飼料価格高騰分の4分の1の金額を447名に対し約5300万円を交付し、十分な支援ではないが農家の経営継続に一定の効果があったと捉えている。引き続き農家の支援を考えていく。

人口減少対策への取組は

Q ライフスタイルに対応した受入れ地域側の支援体制は。

A 7つの宿泊施設にワーケーション※を実施する支援を行った。各施設は、ワーケーション対応プランを販売し、ニーズに対応した受入れ態勢を整えている。就農や起業を希望する方にも、移住コーディネーターを中心に関係機関等と連携し、希望に添った生活が送れるよう、細やかな相談対応を支援している。

※ワーケーション…ワークとバケーションを組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇を取る過ごし方。



ワーケーション設備を整える町内ホテル

総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

調査
1

町の橋梁工事 昇瀬橋の工事進捗状況と 南畑橋補修箇所の確認

6月15日、地域整備課より、昇瀬橋架け替え工事の進捗状況と、南畑橋の補修箇所の状況について現地視察しました。昇瀬橋は今年中の完成を目指し、その後仮橋の撤去を行うなど説明を受けました。南畑橋については、傷んだ箇所の修理や防水工事等の概要説明を受け、補修箇所を確認しました。



昇瀬橋工事の進捗状況を確認

調査
2

ふるさと納税 納税額が減少した原因と 今後の対策は

6月15日、総合政策課より、令和4年度ふるさと納税額が前年比9割に減少した原因と今後の対策について聞き取り調査しました。コロナ禍の影響で高級機械式腕時計の部品供給不足や、米価下落によりお米の販売価格が安くなっていることから需要が減っているなどの説明を受け、今後はセット商品の開発や随時、納税情報の提供を受けることを確認しました。



セット商品の開発が進むふるさと納税の返礼品

教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査
1

デマンドタクシー まちなか巡回バス・ あねっこバス利用状況

6月15日、総合政策課より、まちなか巡回バスとあねっこバス各路線の利用状況について聞き取り調査しました。令和4年10月から実証運行しているまちなか巡回バスは令和5年3月末まで、延べ484便、418人利用（1日当たり3.5人）、乗車率は56.0パーセントとのことでした。また、令和4年度のあねっこバスの全体利用人数は14,296人で、前年度より589人減少したが、土日の利用人数は249人増加したと説明を受けました。



徐々に利用が増えるまちなか巡回バス

調査
2

マイナンバーカード 普及状況とトラブルの有無

6月15日、町民課より、町のマイナンバーカードの普及状況とトラブルの有無について聞き取り調査しました。町の普及率（6月4日現在）は78.6パーセントで全国の77.2パーセントを上回っているが、岩手県の83.9パーセントを下回っているとのことでした。トラブルの有無は、町で対応した分で誤登録の報告は受けていないと説明を受けました。

調査
3

鶯宿温泉スポーツエリア推進事業 アーチェリーセンターの 利用状況と今後の予定

6月15日、生涯文化スポーツ課より、「いわて雫石アーチェリーセンター」ほか、鶯宿温泉スポーツエリア内施設の利用状況と今後の予定について聞き取り調査しました。アーチェリーセンターはこれまで盛岡白百合学園アーチェリー部の合宿や県高等学校春季大会などで利用されており、今後は夏休み中の大学アーチェリー部の合宿や県高体連主催の各大会が予定されていると説明を受けました。

広報広聴常任委員会

[古館謙護委員長]

先進地視察研修 編集技術のスキルアップ

5月17日から19日まで、全国議会広報コンクールで入選している福岡県大刀洗町、タブレットを活用した議会運営で先進的な取り組みを行っている大分県日出町へ、議会広報の編集技術のスキルアップを図ることを目的として視察研修に行ってきました。

大刀洗町では、「議会だよりの編集方針、編集体制」「議会懇談会の取り組み状況について」を研修しました。

大刀洗町の議会だよりは、全国議会広報コンクールにおいて8年連続ベスト10入りをしており、紙面の構成など参考にすべきところが多数ありました。



大刀洗町議会から説明を受ける委員たち

また、フェイスブックなどSNSも活用されていて、即効性とタイムリーな情報発信ができるメリットがあると説明を受け、当議会での必要性を感じました。

日出町では、「タブレット端末導入にかかる会議のペーパーレス化」「議会報の編集方針と編集体制」について研修しました。日出町議会議会報編集特別委員会は、令和4年7月に視察来町しており、2回目の意見交換の場となりました。タブレット端末導入により経費削減、業務効率化が図られているそうです。当議会もタブレット端末を本格的に運用し、6月定例会よりペーパーレス化となりました。今後も経費削減、業務効率化を進めていきます。

今回の研修で学んだ両町の良いところを取り入れ、より親しまれ、読みやすい紙面づくりに役立てていきます。

○令和5年4月11日、17日、20日

議会だよりの125号校正の編集会議を開催しました。

○令和5年4月27日

議会だよりの125号発行。

○令和5年6月9日

議会だよりの126号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。

議会運営委員会

[杉澤敏明委員長]

協議1 雫石町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の検討

協議2 雫石町議会委員会条例の一部改正の検討

第70回 岩手地区議会議員大会

岩手地区議会議長会(会長：武田茂岩手町議会議長)主催の第70回岩手地区議会議員大会が6月27日、雫石町で開催されました。この大会は、雫石町、葛巻町、岩手町の議員が一堂に会し、お互いに検討、協調、研修して、地域課題の早期実現を図ろうと開催しています。県等の関係機関に要望の6項目は次のとおりです。



大会宣言する加藤議長

- ①広域的な観点からの道路整備促進について
- ②地域振興の観点からの道路整備促進について
- ③県立高等学校の存続と魅力ある学校づくりについて
- ④農業振興対策について
- ⑤林業振興対策について
- ⑥テレビ共同受信施設の施設改修費に対する財政支援制度の創設について

※今回は、節目の第70回であることから、八幡平市、滝沢市、矢巾町、紫波町の各議会議員にご案内し、全体研修会として「行政を動かす一般質問のポイント」と題して、株式会社広瀬行政研究所の代表取締役廣瀬和彦氏の講演を聴講した。



さいとう まさる
齊藤 勝さん (67歳・中沼)

ありがたき山「岩手山」

雫石盆地を見下ろして、自然豊かな恵みを与えてくれる。それが、岩手県最高峰「岩手山」。その姿に季節を感じ、一年が過ぎていく。何度見ても、雄大で美しき山。この素晴らしい岩手山の景色が、我が家から見える。ありがたきかな「岩手山」。



まつど あゆむ
松戸 渉さん (36歳・籬野)

雫石川園地のこいのぼりと桜並木

春に雫石駅近くの河川堤防沿いに植えられたソメイヨシノの桜並木。夜は、ライトアップもしていてとてもきれいです。それと子供の日が近くなると大きなたくさんの「こいのぼり」も気持ちよく泳いでいて毎年見に行きます。とても空気がきれいで笑顔になれる場所ですよ。

VOICE

No.21

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



かわい せいえつ
川井 清悦さん (70歳・柘沢)

財宝に恵まれるまち

地名や名所というものには珍しいものがあり、名付けた先人の賢さには感服している。私の住む柘沢から展望する風景は、北に主峰岩手山、西に駒ヶ岳、東に南昌の山並み、南に我がふるさとに根を下ろす「男助山と女助山」が頭上にそびえている。これこそ誇れる我が地域の財宝である。しっかり売り込んでほしい。



きりやま たいじ
桐山 太司さん (49歳・六区)

岩手山の麓で…

毎日まいにち、この岩手山の麓で私達は生活しています。私がこの雫石に来た20年前、さらにそのもっとも前から、岩手山は私達を見つめてくれています。この岩手山の麓で、生かされている喜びを感じながら、色々な課題に挑戦していきたいものですね。



在京雫石町友会事務局長 **かき き 柿木 良三さん**

子ども5人、孫17人に囲まれて

私の父は長山（屋号べご）、母は下久保（陣城）の出で、私が生まれたのは下寺さんのすぐ下にあった柿木商店（屋号きえっこ）です。父が公務員でしたので転勤族。雫石には生まれて4年ほどしか住んでおりません。小学校は大釜、中学は平館、高校は好摩から盛岡迄通学しました。ですから雫石には、幼馴染の友達もあまりおりません。ただ、祖父母が雫石におりましたので、年に幾度なく雫石に帰っておりました。父親、母親の実家は農業もしておりましたので、繁忙期には必ず手を引かれて手伝いに行かされました。

農業の手伝いというよりも「コンビリ」のご馳走を運んだり食べたりするのが仕事でした。

故郷の風景で好きなところは、小岩井農場のあの雄大な緑の大地、開運橋からみる岩手山、御所湖から見る岩手山が大好きです。母親が95才で千歳苑という施設に入所しており、年に3、4回見舞いに

行く程度になっておりますが、その都度、菩提寺の上寺さんに墓参りにいきます。帰省する度に二人の兄と、兄嫁さんに助けられて、楽しいひと時を過ごして帰ってきます。子供5人（四男一女）と孫17人がおりますが、写真は結婚50周年（金婚式）記念の時のものです（7人の孫が留学やボランティアで写真には入っておりません）

最後に在京雫石町友会からお願いですが、どうぞこの議会だよりを手にとされた皆様の中で関東方面にお住いの知人の方がいらっしゃればぜひご紹介を頂きたいと思っております。



金婚式の祝いで集合（中央が筆者）

昭和26年下町生まれ、雫石小学校—西根第一中学校—盛岡商業高校—三菱銀行（現三菱UFJ銀行）—三井住友海上火災保険—あきさ保育園。趣味は民謡と詩吟。



在京雫石町友会会員 **とよまね としあき 豊間根 紀昭さん**

日本百名山踏破をめざして

私は昭和23年駒木野に生まれ幼少頃は心臓疾患がありましたがその後完治、中学から野球を始めてからは丈夫になり、卒業後「雫石自工」（自動車整備会社）で働きながら、雫石クラブで野球をして鍛えられて青春を過ごしました。自動車整備の技術を生かすため二種免許を取得して上京し、相模鉄道（自動車部）に入社。その後はバスのドライバー—筋に、高速バス、観光貸切バス、路線バスを歴任し、無事故で定年まで勤め、全国各地の観光名所、温泉、スキー場を巡り、定年後はゴルフ場の送迎の仕事をしました。

40歳頃友人に誘われて富士山に二度登りました。これで自信が付き登山に目覚め、その後は仲間にも恵まれて今までに全国200座近くの山に登りました。記憶に残る山として、鎖場が険しかった四国石鎚山や山梨乾徳山、眺望は長野雨飾山、鳥海山、月山などがあり、冬

の八ヶ岳で命拾いしたこともあります。その中でも百名山は38座あり、体力が続く限り「日本百名山踏破」を心の支えとして頑張っています。最後は岩手山で終わるのも夢だが、帰省の度に元気をもらえる岩手山にはやはり早く登頂してみたいのが本音です。

恩師で登山家の故矢羽々昭夫先生との思い出ですが、スイス、マッターホルンに行った後に、山の姿のすばらしさや、エーデルワイスの花の美しさを話し合ったことがとても懐かしく思い出されます。実家は兄嫁と妹が守ってくれており感謝しており、時々墓参り等で帰省した時には同級生と会うのが楽しみです。いつも温かく迎えてくれる岩手山と故郷雫石には感謝しています。



在京雫石町友会で江の島散策（後列左から3番目が筆者）

昭和23年駒木野生まれ（6人兄弟の5番目）。西根小学校—西山中学校—雫石自工—田島病院—相模鉄道（自動車部）—戸塚カントリー倶楽部—横浜カントリークラブ

雫石町へようこそ

＼ご縁があり、雫石町民になった！／

うえむら さとし
上村 聡さん (49歳) | 網張 | ※愛知県名古屋出身

Q お二人の馴れ初めは？

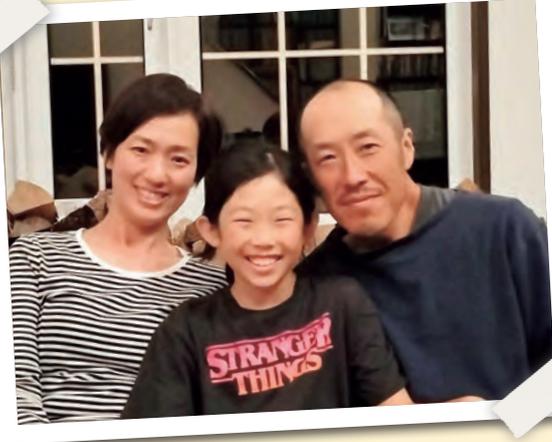
A 26年前、私が新入社員、妻が学生バイトとして同じイベントで1日だけ一緒に働いたことがきっかけです。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 自然がいっぱいあって気持ちいいです。

Q 町に望むことは？

A 自然をたくさん残してほしいです。



左から美寿帆さん (旧姓：田中・45歳)
天乃さん (8歳)

なかよしシリーズ②

今月の
表紙

写真左から
萌奈さん
愛彩さん
絃心さん



幅 大河さん、貴恵さん(林崎)のお子さんです。
虹の似合うまちの元気な3人きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長女 愛彩さん(10歳)：パン屋さん
次女 萌奈さん(9歳)：美容師さん
長男 絃心さん(4歳)：トラクターを
運転したい

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(4月～6月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
4月	0件	0円	1件	15,000円
5月	0件	0円	3件	14,000円
6月	0件	0円	2件	10,000円
合計	0件	0円	6件	39,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■編集デスク

令和5年6月定例会は議員任期4年最後の議会となりました。「しずくいし議会だより」は今任期中にデザインを一新し、全国コンクールで金賞(令和3年度)や岩手県町村議会コンクールでも奨励賞(令和4年度)を受賞してきました。これまで取材等でご協力いただいた皆さまに深く感謝いたします。

今後もより一層「見やすく」「分かりやすく」「手に取ってもらえる」議会だよりとなるよう努力していきますので、皆さまのご協力をお願いします。

(広報広聴常任委員 横手寿明)

発行責任者(議長)／加藤真純
編集委員長／古館謙護
副委員長／坂井尚樹

編集委員／横手寿明・幅 秀哉
岡本忠美・徳田幸男
金子一男